

林業技術センター
普及班便り
(第26回)

いわての林業人5

一 はじめに

今月の普及班便りでは、遠野市宮守でしいたけ生産をされている菊池秀明さんをご紹介します。



菊池 秀明さん

二 人物紹介 【プロフィール】

秀明さんは旧宮守村に生まれ、小さな頃から家業でもあるしいたけ栽培の手伝いをしながら育ったそうです。

秋田で学生生活をすごされた後、地元に戻って遠野市内の林業会社に就職され、主に伐倒作業をされていました。もともと山の空気が好きだったそうで、仕事も山に関わるも

のを選ばれたそうです。

仕事の傍ら、祖父のしいたけ栽培を手伝う中で、しいたけ栽培に将来の可能性を見出し、自分の仕事としてやってみようかと思いついた秀明さんは、それまで勤めていた会社を退職し、平成21年1月から本格的にしいたけ栽培に従事されています。

秀明さんに趣味を尋ねたところ、中学校から始めたバスケットボールを楽しんでおられるとのこと。現在は社会人チームに所属し、平日の夜には遠野市内の体育館で練習をされているそうで、大会にも出場しているとのことでした。

三 仕事の状況

(1) 祖父から受け継ぐもの

秀明さんが本格的にしいたけ生産に従事してから約半年。この間、ほだ木の伐採からほだ場の間伐作業、植菌、しいたけ採取と仕事が続いており、取材にお邪魔した6月下旬には、春に植菌したほだ木の伏せこみ作業を行われていました。

この日は、祖父の英雄さんとお2人で、春に植菌したほだ木に菌をまわすための裸地伏せという作業をまわっていました。

しいたけ栽培歴数十年の大ベテラである英雄さんがてきぱきと作業

を進められているのと同じように作業を進める秀明さんを見て、確実に「技術の伝承」がなされていることを実感しました。



裸地伏せ作業 左：秀明さん 右：英雄さん

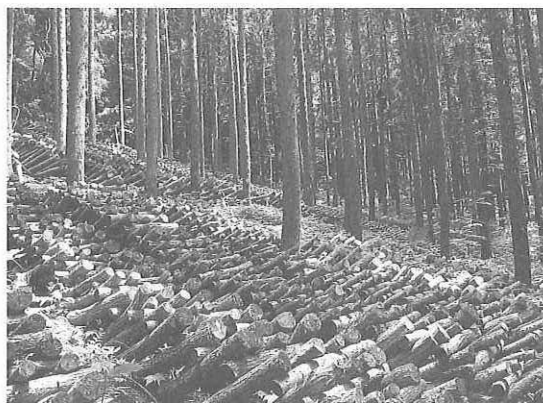
(2) 今後の目標

現在、秀明さんは、しいたけ栽培技術の向上を目指して県が行う研修会に参加されているほか、岩手県林業作業士（グリーンマイスター）の取得を目指して林業に関する様々な研修を積極的に受講されています。

今後の目標をお聞きしたところ、「現在の栽培規模や品質を維持しながら、自らの経験を活かした造林や素材生産もやっていきたい」とのこ

とでした。

将来の目標を語るその言葉からは、地に足を付けて確実に前に進んで行きたいという気持ちを感じられました。いずれ家を継ぐ者として、自分が家を支えていくという自覚が秀明さんを前進させているのだ、と婦りの車の中で思いました。



スギ林内のほだ場 手入れが行き届いています

四 おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられたならご連絡ください。

林業技術センター普及班